

平成22年6月29日

各位

高知県病虫害防除所長

平成21年度病虫害発生予察技術情報資料(第2号)の送付について

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ等)の発生状況について

県内4地点における、果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査では、下図のとおり6月に入り非常に多く誘殺されており、6月の県内4地点の合計誘殺数は、過去10年間で最も多くなっています。なお、誘殺された果樹カメムシ類はチャバネアオカメムシがほとんどでした。

昨年は春期にスギ・ヒノキの花粉の飛散量が極端に多く、そのような年の秋期や翌年の春期には、果樹カメムシ類が多発する傾向にあります。また、過去に多発生であった平成12年や14年には、6月より7月の方がフェロモントラップへの誘殺が多くなっています。

今後も、気温の上昇に伴い活動が活発となり、チャバネアオカメムシなどが果樹園(モモ・スモモ・ナシ・カキ・カンキツ等)に多く飛来する可能性がありますので、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努めてください。

さらに4月から6月にかけて、愛媛県や中国地方4県・近畿地方6府県などで、果樹カメムシ類の注意報が相次いで発令されています。

1. 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)の半旬別フェロモントラップ誘殺数

調査地点: 東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町鏡野、中西部:須崎市戸波浦、西部:四万十市名鹿



